

■夢の実現のために

* 大学入試のしくみ

1 一般選抜(共通テスト、個別学力試験)

一般選抜は、主に学力試験による入試であり、通常「大学入試」といえば一般選抜をイメージすることが多い。国公立大学では、1次試験として共通テストを課し、2次試験として大学独自の試験を課している。私立大学では、大学独自の試験のみで合否を判定する方式と、共通テストの成績を利用して判定する方式とがある。

(1) 大学入学共通テスト

2021年度入試から始まった共通テストの出題形式は、マークシート方式である。多くの私立大学が参加していることから、アラカルト方式(各大学・学部が合否判定に用いる教科・科目を自由に設定できる方式)を採用している。

(2) 国公立大学の一般選抜

国公立大学の一般選抜では、1次試験として共通テストを、2次試験として各大学個別の試験を課しており、これらの成績をあわせて合否の判定を行う。大学によっては、「傾斜配点」や「2段階選抜」を取り入れているところもある。

< 大学入学共通テスト出題教科・科目、標準的な配点 >

教科/科目	国語	地歴・公民	数学		理科	外国語(英語)		合計点
			数学①	数学②		リーディング	リスニング	
配点(理系型)	200点	100点	100点	100点	200点	100点	100点	900点
配点(文系型)	200点	200点	100点	100点	100点	100点	100点	900点

理系型でも文系型でも国語200点、数学①と数学②を合わせた数学200点、リーディングとリスニングを合わせた外国語(英語)200点と配点は高くなっている。理系型は理科を200点、文系型は地歴公民を200点としている。

① 傾斜配点

共通テストの成績を合否判定に利用する際には、各大学が独自の配点を定めることができる。その中でも、2次試験に課されない教科や、学部ごとに専攻する学問分野に関連する教科の配点は高くなることが多い。九州大学法学部の例でみると、共通テストの地理歴史・公民は100点、国語と数学①と数学②を合わせた数学、リーディングとリスニングを合わせた外国語(英語)は各50点に換算され、2次試験を実施しない地理歴史・公民の配点は高く、2次試験を実施する国語と数学、外国語(英語)の配点は低く換算されていることがわかる。

< 九州大学 法学部 傾斜配点(2023年前期日程) >

教科/科目	国語	地歴・公民	数学		理科	外国語(英語)		合計点
			数学①	数学②		リーディング	リスニング	
共通テスト	50点	100点	25点	25点	50点	25点	25点	300点
個別試験	200点	0点	200点		0点	200点		600点

② 2段階選抜

国公立大学の中には、共通テストによって第1段階の選抜を行い、これに合格した受験生のみが2次試験を受けることができるという「2段階選抜」を行っているところもある。通常は、第1段階で選抜する人数が事前に発表されており(募集人員の3~5倍程度のことが多い)、受験生は共通テストの成績を自己採点してこれを基に出願することになる。大学によっては、共通テストの成績は第1段階の選抜のみに用い、合否判定は2次試験の成績のみで行うところもある。

◆国公立大学の1次試験(共通テスト)

1次試験(共通テスト)では、文系学部では、外国語、国語、数学2科目、地理歴史・公民から2科目、理科①から2科目または理科②から1科目の、合計5教科7科目(または6教科8科目)を課す場合が多い。理系学部では、外国語、国語、数学2科目、地理歴史・公民から1科目、理科②から2科目の合計5教科7科目を課す場合が多い。なお、難関大学を中心に、公民は『倫理、政治・経済』のみを選択可(「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」は選択不可)としている大学が多い。

◆国公立大学の2次試験(個別学力試験)

国公立大学の2次試験は「分離・分割方式」で実施される。これは、個別学力試験の日程と募集人員を前期日程と後期日程の2つに分けて試験を実施する方式である。なお、一部の公立大学ではこのほかに中期日程の試験を行うところもある。これによって受験生は2回(または3回)の受験機会が得られることになる。

前期日程の試験で合格して入学手続きをすると、後期日程では合格となる資格がなくなってしまう(中期日程も同様)ので、通常は前期日程で第1志望校に出願することになる(もちろん、前期・後期とも第1志望校に出願してもよい)。もっとも、最近は募集人員の大部分を前期日程にあてて後期日程の募集人員を少なくしている大学が多く、また、後期日程の募集を停止する大学もある。東京大は2016年度から推薦入試(学校推薦型選抜)を導入し後期日程の試験を廃止、大阪大は2017年度からAO入試(総合型選抜)および推薦入試(学校推薦型選抜)を導入し、8学部で後期日程を廃止した。一橋大は、2018年度から社会学部と法学部で後期日程を廃止すると同時に、全学部で推薦入試(学校推薦型選抜)を導入し、後期日程は経済学部のみで実施。北海道大は、2022年度から医学部(保健学科)の後期日程を廃止した。

(3)私立大学の一般選抜

私立大学の一般選抜は、かつては大学独自の個別試験のみで行われていた。2000年のセンター試験(当時)を利用していたのは242校であったが、2023年の共通テストは、535校(約9割)の私立大学が利用している。

私立大学入試の特徴は①何校でも併願が可能である、②複数の大学に合格してもいずれの大学の入学資格も失わない、③ほぼ全ての私立大学が複数の試験日程・試験方式を設けており受験機会が豊富にあることなどが挙げられる。

私立大学の一般選抜の方式にはいくつかあるが、①大学独自の試験のみで合否判定を行う「個別試験方式」、②共通テストの成績のみで合否を判定する「共通テスト単独方式」、③共通テストと大学独自の試験の両方の成績で合否判定を行う「共通テスト併用方式」の3つが代表的である。また、大学の全学部で共通の試験を行って受験生は同時に複数の学部・学科に出願できる「全学部統一方式」を導入する大学もある。さらに、上智大の「TEAP スコア利用型入試」のように、英語の外部試験と大学独自の試験を組み合わせた方式を導入する大学も増えている。また、大学の所在地以外に試験会場を設けて(全国の主要都市で行う場合が多い)、受験生が自宅から近い試験会場で受験することができる「地方会場入試」を行う大学も大規模大学を中心に増加している。

なお、web 出願の際に、主体性、多様性、協働性に関する経験等を入力しなければならない場合がある。例えば、明治大は『「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を持って活動・経験してきたと受験生本人が考えている内容について、500文字以内』の入力を求めている。慶應義塾大は『「主体性」「多様性」「協働性」についてどのように考え、心掛けてきたかについて、100文字以上、500文字以内』である。2021年度入試からの改革の一環として「主体性の評価」が求められているためだが、いずれも出願要件ではあるが、合否判定に利用されずに、入学後の参考資料として活用されることが多い。

◆個別試験方式

多くの大学で、この個別試験方式の募集人員が最も多く、最もオーソドックスな試験方式である。個別試験の試験

科目は3科目としている大学が多く、文系学部では英語、国語、地理歴史または公民の3科目、理系学部では英語、数学、理科の3科目としている大学が多い。早稲田大の理工系学部や慶應義塾大理工学部などのように理科2科目が必須で計4科目を課している場合もある。このほかにも、2科目型、1科目型、得意科目重視型などがある。2科目型は受験する科目が指定されている場合もあるが、受験生が得意科目を選択できる場合や、3科目以上受験して得点の高い科目の成績を合否判定に用いる場合など、大学によってさまざまである。また、入試日程を複数用意して、他大学や同一大学の他学部との併願がしやすいように配慮している大学もある。

3 総合型選抜

総合型選抜は、2020年度まで「AO(アドミッション・オフィス)入試」と呼称されていた試験方式である。

通常の学力試験による入試と異なり、受験者が「大学が求める人物像(アドミッション・ポリシー)」に合致しているかどうかで合否を判定する試験方式であり、2021年度入試からは、各大学の実施する評価方法等(小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績など)または共通テストのいずれかの活用が必須化されることとなった。受験生の適性を多面的・総合的に評価する選抜方式である。

従来のAO入試は、慶應義塾大 SFC(湘南藤沢キャンパス)2学部が1990年に導入し、その後急速に導入する大学が増加した。最近では、私立大学だけでなく国公立大学でも総合型選抜の導入が拡大している。2024年度入試では、105校の国公立大学が総合型選抜を実施予定。

国立大学の総合型選抜の募集人員の割合は、2018年度の4.2%から2024年度には6.9%まで大幅に増加しており、また、公立大学では2018年度の2.5%から2024年度は4.0%といずれも増加している。

以前は、AO入試の募集開始時期に制限がなかったために、学生をできるだけ早く確保したいと考えて募集開始時期をどんどん前倒しにする大学がでてくるようになった。しかし、「学生の青田買いにつながる」との批判が強くなったことから、2011年度からは制限されるようになり、2021年度からは出願時期は9月1日以降、合格発表時期は11月1日以降となっている。

また、従来のAO入試では学力試験を行わなかったため、AO入試で入学した学生の学力不足が問題となっていた。そのため、2021年度入試からの総合型選抜では、小論文、プレゼンテーション、口頭試問、教科、科目に係るテスト、または共通テストなどで、学力を適切に評価することが求められている。加えて、入学前教育が積極的に実施されている。

4 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は、2020年度まで「推薦入試」と呼称されていた試験方式である。受験者が出身高校からの推薦を受け、高校が発行した調査書と面接や小論文などで合否を判定する試験方式である。2020年度大学入学者選抜実施要項(文部科学省)では、「出身高等学校長の推薦に基づき、原則として学力検査を免除し、調査書を主な資料として評価・判定する入試方法」と記載されていたが、2021年度入試からは、「原則として学力検査を免除し」が削除され、調査書・推薦書等の出願書類だけでなく、総合型選抜同様に各大学が実施する評価方法等(小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績など)または共通テストのいずれかの活用が必須化された。

学校推薦型選抜は、大きく分けて指定校制推薦と公募制推薦とに分けられる。

指定校制推薦は、大学が指定した高校からのみ出願ができる方式である。これは、高校と大学との間の信頼関係によって成り立っている制度であり、推薦されればほぼ合格できる。ただし、推薦できる人数(推薦枠)が限られているので、推薦を受けるためには高校内での選抜に勝ち残る必要がある。

公募制推薦は、どの高校からでも出願できる。通常は面接や小論文などで判定されるが、共通テストを課される場

合もある。また、高校1年生から3年生の1学期までの全科目の「学習成績の状況」(旧「評定平均値」)が大学の定める基準を超えていることが出願の条件となっていることが多く、部活動や生徒会活動、ボランティア活動などが評価の対象になることもある。

また、2021年度入試からは出願受付が11月1日以降、合格発表が12月1日以降に変更された。入学前教育についても総合型選抜と同様に積極的な実施を求めている。

◆国公立大学の学校推薦型選抜

国公立大学の学校推薦型選抜は基本的に公募制推薦であり、共通テストを課す大学が多い。また、過疎地の医師や教員の確保を目的として、大学卒業後に地元で就職することを前提にした「地域枠推薦」が医学部や教育学部で実施されているところもある。学校推薦型選抜の募集人員の割合は、国立大学では2018年度の12.5%から2024年度は13.1%と増加しており、また、公立大学では、2018年度の25.5%から2024年度には27.5%といずれも増加している。

◆私立大学の学校推薦型選抜

私立大学の学校推薦型選抜は、公募制推薦のほか指定校制推薦を実施している大学が多い。また、私立大学の学校推薦型選抜では、併願が認められている場合もある。通常の学校推薦型選抜のほか、スポーツ推薦、高度な技術が求められる特別推薦(いわゆる「一芸入試」)などもある。

5 2023年度大学入学共通テスト

(1)共通テストの志願者数の推移

2023年度共通テストの志願者数は、512, 581人であった。前年度から17, 786人減少となった。内訳をみると、高等学校等卒業見込者(高3生)は前年度から12, 496人減、高等学校等卒業者(既卒生)は前年度から5, 143人減となった。

(2)共通テストの平均点の推移

表1は、共通テスト本試験の主要科目の平均点と7科目型を想定した総合平均点を文系と理系について算出したものである。

各科目の平均点を見ていくと、「英語(リーディング)」(100点満点)は前年度から7.99点ダウン、「英語(リスニング)」(100点満点)は2.90点アップとなった。「国語」(200点満点)は4.52点のダウン。数学では「数学Ⅰ・A」(100点満点)は17.69点アップ、「数学Ⅱ・B」(100点満点)は18.42点アップとなり、大幅に平易化した。理科では「化学」(100点満点)が6.38点アップ(得点調整後の平均点)。地歴・公民については、「日本史 B」(100点満点)が6.94点アップ。「世界史 B」(100点満点)は7.40点ダウンとなった。

これらを元に、理系5教科7科目と文系5(6)教科7科目の総合平均点を算出すると、文系が533.00点(前年度から25.00点アップ)、理系が549.00点(同35.00点アップ)となった(ともに900点満点)。

表1 共通テストの主要科目の平均点と、7科目型を受験することを想定したときの総合平均点の推移

科目名	配点	平均点			2022年度 前年差	2023年度 前年差
		2021年度	2022年度	2023年度		
英語(リーディング)	100	58.80	61.80	53.81	3.00	-7.99
英語(リスニング)	100	56.16	59.45	62.35	3.29	2.90
数学Ⅰ・A	100	57.68	37.96	55.65	-19.72	17.69
数学Ⅱ・B	100	59.93	43.06	61.48	-16.87	18.42
国語	200	117.51	110.26	105.74	-7.25	-4.52
物理基礎	50	37.55	30.40	28.19	-7.15	-2.21
化学基礎	50	24.65	27.73	29.42	3.08	1.69
生物基礎	50	29.17	23.90	24.66	-5.27	0.76
地学基礎	50	33.52	35.47	35.03	1.95	-0.44
物理	100	62.36	60.72	63.39	-1.64	2.67
化学	100	57.59	47.63	54.01	-9.96	6.38
生物	100	72.64	48.81	48.46	-23.83	-0.35
地学	100	46.65	52.72	49.85	6.07	-2.87
日本史B	100	64.26	52.81	59.75	-11.45	6.94
世界史B	100	63.49	65.83	58.43	2.34	-7.40
地理B	100	60.06	58.99	60.46	-1.07	1.47
現代社会	100	58.40	60.84	59.46	2.44	-1.38
倫理	100	71.96	63.29	59.02	-8.67	-4.27
政治・経済	100	57.03	56.77	50.96	-0.26	-5.81
倫理、政治・経済	100	69.26	69.73	60.59	0.47	-9.14
文系平均点 (5(6)教科7科目)	900	553.00	508.00	533.00	-45.00	25.00
理系平均点 (5教科7科目)	900	571.00	514.00	549.00	-57.00	35.00

※総合平均点は東進予想
 ※文系平均点は英語・数学2科目・国語・理科1科目・地歴公民2科目で算出
 ※理系平均点は英語・数学2科目・国語・理科2科目・地歴公民1科目で算出
 ※理科基礎は2科目必須のため、2科目で1科目のみならず
 ※英語はリーディングとリスニングの合計200点
 ※2021年度は得点調整後の第1日程の平均点
 ※2023年度は得点調整後の平均点
 出典：大学入試センターの公表値より作成

6 2023年度大学入学共通テスト 特徴的な出題例

英語(リーディング)第6問B

クマムシについての文章を読み、空所に適するものを選び、プレゼンテーション用スライドを完成させる出題である。

答) 44:④、45-46:①-⑤(順不同)、47:③、48:④、49:④

Your presentation slides:

Tardigrades:
Earth's Ultimate Survivors

1. Basic Information

- 0.1 mm to 1.5 mm in length
- shaped like a short cucumber
- .
- .
- .

44

2. Habitats

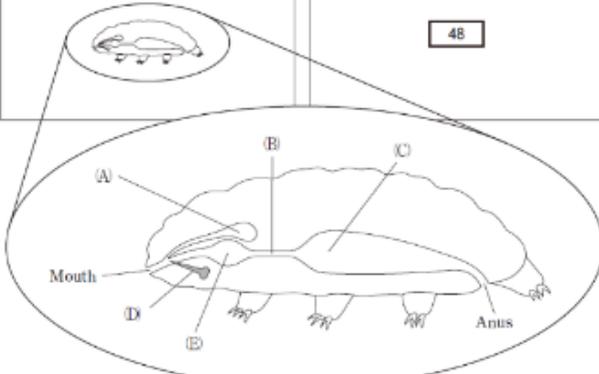
- live almost everywhere
- extreme environments such as...
 - 6 km above sea level
 - 4.6 km below sea level
 - in deserts
 - 272°C to 151°C
 - in space (possibly)

3. Secrets to Survival



- 45
- 46

4. Digestive Systems 47



5. Final Statement

48

問 1 Which of the following should you not include for 44 ?

- ① eight short legs
- ② either blind or sighted
- ③ plant-eating or creature-eating
- ④ sixteen different types of feet
- ⑤ two stylets rather than teeth

問 2 For the **Secrets to Survival** slide, select two features of the tardigrade which best help it survive. (The order does not matter.) 45 · 46

- ① In dry conditions, their metabolism drops to less than one percent of normal.
- ② Tardigrades in a state of tun are able to survive in temperatures exceeding 151°C.
- ③ The state of tun will cease when the water in a tardigrade's body is above 0.01%.
- ④ Their shark-like mouths allow them to more easily eat other creatures.
- ⑤ They have an ability to withstand extreme levels of radiation.

問 3 Complete the missing labels on the illustration of a tardigrade for the **Digestive Systems** slide. 47

- ① (A) Esophagus (B) Pharynx (C) Middle gut
(D) Stylets (E) Salivary gland
- ② (A) Pharynx (B) Stylets (C) Salivary gland
(D) Esophagus (E) Middle gut
- ③ (A) Salivary gland (B) Esophagus (C) Middle gut
(D) Stylets (E) Pharynx
- ④ (A) Salivary gland (B) Middle gut (C) Stylets
(D) Esophagus (E) Pharynx
- ⑤ (A) Stylets (B) Salivary gland (C) Pharynx
(D) Middle gut (E) Esophagus

問 4 Which is the best statement for the final slide? 48

- ① For thousands of years, tardigrades have survived some of the harshest conditions on earth and in space. They will live longer than humankind.
- ② Tardigrades are from space and can live in temperatures exceeding the limits of the Arctic fox and Bactrian camel, so they are surely stronger than human beings.
- ③ Tardigrades are, without a doubt, the toughest creatures on earth. They can survive on the top of mountains; at the bottom of the sea; in the waters of hot springs; and they can also thrive on the moon.
- ④ Tardigrades have survived some of the harshest conditions on earth, and at least one trip into space. This remarkable creature might outlive the human species.

問 5 What can be inferred about sending tardigrades into space? 49

- ① Finding out whether the tardigrades can survive in space was never thought to be important.
- ② Tardigrades, along with other creatures that have been on earth for millions of years, can withstand X-rays and ultraviolet radiation.
- ③ The Israeli researchers did not expect so many tardigrades to survive the harsh environment of space.
- ④ The reason why no one has been to see if tardigrades can survive on the moon's surface attracted the author's attention.

国語第2問 問7

本文からの出題ではなく、それに関わる資料と構想メモに基づく新傾向の出題。

答) 19:③、20:②

問7 Wさんのクラスでは、本文の理解を深めるために教師から本文と同時代の「資料」が提示された。Wさんは、「資料」を参考にマツダランプの広告と本文の「焼けビル」との共通点をふまえて「私」の「肌え」を考察することにし、「構想メモ」を作り、「文章」を書いた。このことについて、後の①・②の問いに答えよ。なお、設問の都合で広告の一部を改めて示す。

【資料】

●マツダランプの広告
雑誌『航空朝日』一九四五年九月一日発行に掲載

省略

●補足
この広告は、戦時中には生産に全力を挙げていますが、御家庭用は影がなくなりますから、お宅の電球を大切にしてください。」と書かれていた。戦後も物が不足していたため、右のように改めて掲載された。

【構想メモ】

① 【資料】からわかること
・ 社会状況として戦後も物資が不足していること。
・ 広告の一部の文字を引用すること。戦時中の広告を戦後に引用しているという点。

② 【文章】の展開
① 【資料】と本文との共通点
・ マツダランプの広告
・ 「焼けビル」(本文末尾)
←
② 「私の現状や今後に関する私」の認識について
←
③ 「私」の「肌え」についてのまとめ

【文章】

【資料】のマツダランプの広告は、戦後も物資が不足している社会状況を表している。この広告と「肌え」の最後にある「焼けビル」とは共通点がある。① この共通点は、本文の会長の仕事のやり方とも異なる。そのような会長の下で働く「私」自身はこの職にしがみついても苦しい生活を耐える可能性がなげと思ひ、具体的な未来像を持つこともないままに会社を辞めたのである。そこで改めて「資料」を参考に、本文の最後の一文に注目して「私」の「肌え」について考察すると、「かなしくそそり立っていた」という「焼けビル」は、② と捉えることができる。

③ 空欄 ① に入るものとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 19。

① それは、戦時下の軍事的圧力の影響が、戦戦後の日常生活の中においても色濃く残っているということだ。
② それは、戦時下が生じた節約の精神が、戦戦後の人びとの生活態度においても根柢にわたっているということだ。
③ それは、戦時下に存在した事物が、戦戦に伴い社会が変化する中においても生き延びているということだ。
④ それは、戦時下の国家貢献を重視する方針が、戦戦後の経済活動においても支持されているということだ。

④ 空欄 ② に入るものとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 20。

① 「私」の「肌え」を解消するには節約を怠らない会社の象徴
② 「私」にとって解消すべき「肌え」が継続していること象徴
③ 「私」の今までの「肌え」を生活や本業な仕事との決別の象徴
④ 「私」が会社を辞めた後から脱却する勇気を得たこと象徴

数学 I・数学 A 第2問[2]

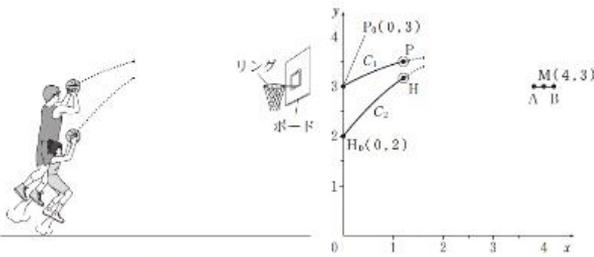
シュートの軌道を考える2次関数の問題。長文の仮定から必要な情報を取り出し、問題文で与えられた式の形などをヒントとして解き進められるかがカギ。

答) キ・ク:④・③、ケ・コ:④・③、サ:②

数学 I・数学 A

[2] 太郎さんと花子さんは、バスケットボールのプロ選手の中には、リングと同じ高さでシュートを打てる人がいることを知り、シュートを打つ高さによってボールの軌道がどう変わるかについて考えている。

二人は、図1のように座標軸が定められた平面上に、プロ選手と花子さんがシュートを打つ様子を真横から見た図をかき、ボールがリングに入った場合について、後の仮定を設定して考えることにした。長さの単位はメートルであるが、以下では省略する。



参考図

図 1

(数学 I・数学 A 第2問は次ページに続く。)

仮定

- 平面上では、ボールを直径 0.2 の円とする。
- リングを真横から見たときの左端を点 A(3.8, 3), 右端を点 B(4.2, 3) とし、リングの太さは無視する。
- ボールがリングや他のものに当たらずに上からリングを通り、かつ、ボールの中心が AB の中点 M(4, 3) を通る場合を考える。ただし、ボールがリングに当たるとは、ボールの中心と A または B との距離が 0.1 以下になることとする。
- プロ選手がシュートを打つ場合のボールの中心を点 P とし、P は、はじめに点 P₀(0, 3) にあるものとする。また、P₀, M を通る、上に凸の放物線を C₁ とし、P は C₁ 上を動くものとする。
- 花子さんがシュートを打つ場合のボールの中心を点 H とし、H は、はじめに点 H₀(0, 2) にあるものとする。また、H₀, M を通る、上に凸の放物線を C₂ とし、H は C₂ 上を動くものとする。
- 放物線 C₁ や C₂ に対して、頂点の y 座標を「シュートの高さ」とし、頂点の x 座標を「ボールが最も高くなるときの地上の位置」とする。

(1) 放物線 C₁ の方程式における x² の係数を a とする。放物線 C₁ の方程式は

$$y = ax^2 - \boxed{\text{キ}}ax + \boxed{\text{ク}}$$

と表すことができる。また、プロ選手の「シュートの高さ」は

$$- \boxed{\text{ケ}}a + \boxed{\text{コ}}$$

である。

(数学 I・数学 A 第2問は次ページに続く。)

放物線 C₂ の方程式における x² の係数を p とする。放物線 C₂ の方程式は

$$y = p \left\{ x - \left(2 - \frac{1}{8p} \right) \right\}^2 - \frac{(16p-1)^2}{64p} + 2$$

と表すことができる。

プロ選手と花子さんの「ボールが最も高くなるときの地上の位置」の比較の記述として、次の①～③のうち、正しいものは サ である。

サ の解答群

- ① プロ選手と花子さんの「ボールが最も高くなるときの地上の位置」は、つねに一致する。
- ① プロ選手の「ボールが最も高くなるときの地上の位置」の方が、つねに M の x 座標に近い。
- ② 花子さんの「ボールが最も高くなるときの地上の位置」の方が、つねに M の x 座標に近い。
- ③ プロ選手の「ボールが最も高くなるときの地上の位置」の方が M の x 座標に近いときもあれば、花子さんの「ボールが最も高くなるときの地上の位置」の方が M の x 座標に近いときもある。

(数学 I・数学 A 第2問は 46 ページに続く。)

■英進館高等部について

英進館で高校生の学ぶ場は2つあります。一つは東進衛星予備校、もう一つは高等部TZクラスです。ともに、高い学力を身につける指導はもちろん、目標に向かって努力する意欲や姿勢、忍耐力、やり抜く力といった非認知能力と呼ばれる能力を高める指導も行っています。



①「東進衛星予備校」

全国で10万人以上の高校生たちが東進衛星予備校のシステムを使って、自らの夢の実現の為に日々学習に励んでいます。年東京大学845名、九州大学507名、国公立大学の医学部1,064名をはじめとする圧倒的な合格実績(2023年3月31日時点)は、全て「現役生」のみの数です。

[圧倒的な合格実績を支える東進のシステム]

1 高速学習

東進の授業はおよそ1万種類。その中から、お子様一人ひとりのレベル・目標に合わせて講座を選びます。t-PODの映像配信による授業なので、通常1年近くかけて学習する内容を、1ヶ月程度(1週間に5コマペース)～3ヶ月程度(1週間に2コマペース)で「速習」することができます。学校行事や部活動など、自分のスケジュールに合わせて時間を有効活用できます。

2 スモールステップ・パーフェクトマスター

自分の現在の学力レベルに見合うレベルの講座からスタートし、段階を踏んで必要な学力レベルに到達する「スモールステップ」カリキュラム、「確認テスト」と「講座修了判定テスト」で、習ったことを定着させる「パーフェクトマスター」により、確実に学力を伸ばします。

3 実力講師陣

講師へのこだわり。それは最高の授業へのこだわりです。合格のために何が必要か知り尽くした有名実力講師陣の授業を、受講することができます。

4 担任指導

東進では、担任が「東進模試成績」「受講状況」「合格設計図」などに基づいて合格作戦面談を行い、最適な学習方法をアドバイスします。一人ひとりが抱えている課題をともに考え解決し、お子様のやる気を引き出しながら志望校合格までリードします。

5 高速マスター基礎力養成講座

英単語、英熟語、英文法、計算力、古文単語、古典文法、…など、学力向上に必要不可欠な「基礎学力」を、オンラインで徹底的に暗記・トレーニングします。オンラインなので、いつでもどこでも利用でき、効率よく基礎学力を養成できます。

6 通期講座

東進の実力講師陣による授業で、主に概念や考え方・解き方などを修得します。各講座、90分×20回の授業からなりますが、「高速学習」で集中的に学習することでさらに効果が高まります。各科目、レベル・分野ともに豊富なラインナップから学力を伸ばすための最適な講座を選ぶことができます。

7 過去問演習講座

合格のためには、必要な学力基盤を構築した上で、その「学力」を「得点」に結びつける力が必要不可欠です。「過去問演習講座」で10年分の過去問徹底演習、大問分野別の徹底演習、解説授業を通して得点力を養います。難関国公立大については「添削指導」もあります。

8 志望校別単元ジャンル演習講座

最新のAIを活用した演習講座です。学力診断を元に志望校に合格するために学習すべき単元・ジャンルの問題を、30万問以上のデータベースから探し出し、「必勝・必達セット」として提案します。最新のAIを活用した、一人ひとりに最適な志望校対策を実現する日本初の学習システムです。

9 東進模試

東進模試は偏差値による「相対的な」学力評価だけでなく、「合格まであと何点伸ばせばよいか」が明らかになるため、連続受験することで、次に向けて明確な目的意識と的確な学習計画が可能になり、着実に学力を伸ばすことができます。

さらに、将来についての考えや「夢」や「志」を深めるための大学学部研究会などの「未来発見講座」や、「英語4技能」を鍛える講座もあります。お子様の安全管理のための「登下校メール配信サービス」、保護者様がお子様の受講状況や東進模試成績などをご覧いただける「保護者用学力POS」システムもあります。

2 天神本館高等部TZクラス

特長① 東大・京大・九大・国公立大医学部などの難関大の現役合格を目指すクラスです。

現役合格を果たすための重要な要素の一つは、厳選された大学入試の過去問題の演習に十分な期間、取り組むことです。天神本館TZクラスでは、高校3年の1年間を過去問題の演習と解説授業を行う期間としています。一例ですが、理系進学クラスは、高校2年の2月までに『数学Ⅲ』の単元学習が終了するカリキュラムを組んでいます。

※各高校の授業進度や定期考査の範囲に合わせたカリキュラムではございませんので、予めご了承ください。

特長② 受験の根幹である英語・数学を先取り学習&徹底強化！

英進館天神本館高等部TZクラスは、英語と数学を基幹教科としています。人気の集まる難関国公立大学入試においては、文系学部・理系学部問わず、数学・英語は共通テストでも二次試験でも入試科目として課され、高い配点を占めます。したがって、英語と数学を「早期に」高い学力レベルまで完成させるということが、難関大学合格の絶対条件となります。

特長③ 数学と英語は、教科ごとにクラス編成します。

従来は、「数学と英語の合計点」でのクラス編成でしたが、数学・英語それぞれの点数でそれぞれのクラスを編成いたします。2教科合計でのクラス編成では、数学と英語に学力差がある場合、一方の授業のレベルが自分に合わず、学習効果が半減する可能性があるためです。英語・数学ともに、同レベルの学力を持つライバル同士で切磋琢磨できる環境をみなさんに提供いたします。

特長④ 1教科(週1日)からご参加いただくこともできます。

天神高等部TZクラスは、数学と英語の2教科(週2日)参加していただくことを基本としています。また、土曜日を開講する「東大クラス」や「ハイレベルクラス」にも参加(週3日)し、さらなる実力アップを目指してもらいたいとも考えています。しかし、諸事情により週2日(3日)通うことがどうしても困難な方もおられると思います。1教科(週1日)だけのお申し込みも受け付けます。ただし、週1日(1教科)のみの方であっても、年に3回あるクラス分けテストは、必ず数学・英語の2教科とも受験していただきます。